

SAJ 公認ビューティースキンクリニックカップ 2021 及び
SAN 主催ビューティースキンクリニックカップ 2021
における新型コロナウイルス感染防止対策

長野県スキー連盟スノーボード部大会運営委員会

本競技会の関係者は、全日本スキー連盟が定める「SAJ 競技会新型コロナウイルス感染予防ガイドライン（最新版）」に基づき、感染対策を遵守しなくてはならない。

大会参加者の遵守事項

1. 大会の2週間前から大会当日まで下記事項に該当する場合は、参加の見合わせるよう配慮すること。

- ・発熱(37.5℃以上)を認める。
- ・せき、のどの痛みなど風邪の症状がある。
- ・だるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある。
- ・嗅覚や味覚の異常がある。
- ・体が重く感じる、疲れやすい等の症状
- ・新型コロナウイルス感染者との濃厚接触歴がある。
- ・同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる。
- ・参加14日前までに政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航歴がある、または当該在住者との濃厚接触歴がある。

2. 健康管理表の提出

参加者においては「健康管理表」を、大会2週間前から事前に記入し受付時に必ず提出すること。提出がない場合は大会参加を受け付けない。

「健康管理表」の管理については、個人情報保護を遵守し、当大会運営委員会が厳正なる管理のもとに保管し、参加者の健康状態の把握や来場可否の判断及び必要な連絡調整のためにいたします。但し、感染者または疑いのある方が発見された場合には、必要な範囲で保健所・行政機関等に情報を提供することがありますので、予めご了承ください。

3. マスクの着用について

- ①選手は競技中・ウォーミングアップ・クールダウン時を除いて、常時マスクを装着する。（屋外においては防寒・暴風のためのフェイスマスクやネックウォーマー等でも可。待機時間や休憩等屋内で過ごす際にはマスクが望ましい）
- ②ウォーミングアップ後や競技直後、呼吸が落ち着くまでマスクは装着しなくても良いが、荒い呼吸は飛沫が多くなり感染リスクが増大するため、対人距離や咳エチケットに留意すること。
- ③コーチ、審査員、スタート地点のスタッフ等選手の近くで活動する者は常時マスクを着用すること。マスクを外した選手と会話することで目の粘膜に飛沫が飛ぶ可能性を考慮し、フェイスガードやゴーグル、サングラス等も装着することが望ましい。
- ④マスクが汚染や水濡れ等で使用できなくなることを考慮し、替えを持参すること。
- ⑤使用済のマスクは会場で破棄せず、自身で持ち帰ること。

4. その他大会当日の留意事項について

- ①大声での会話や指導は避け、常に1～2mの対人距離をとって行動する。

- ②入場時検温にて発熱が認められた場合は、大会救護担当者の指示に従う。
- ③入場前に体調不良となった場合は、会場内に入場せず帰宅するか、判断に迷う場合は入場口の大会スタッフに申告する。
- ④会場内で体調不良となった場合は、近くの大会スタッフに申告し、移動せずにその場で指示を待つ。
- ⑤頻回の入退場は控えること。
- ⑥使用禁止エリアへの立ち入りはしないこと。(大会前後での消毒範囲や、大会終了後に陽性者が発生した場合の接触部位特定に影響を及ぼすため)
- ⑦私物は可能な限り持参した袋に入れて管理すること。(目の届かない間の他者の飛沫、自身の飛沫が付着した私物で環境を汚染するリスクを最小限にするため)
- ⑧選手は、自分の競技終了後、速やかに退場すること。
- ⑨大会終了後、集合しての打ち上げやミーティングは禁止する。
- ⑩大会主催者・施設管理者が定めたその他の措置・指示に従うこと。

5. 大会後

大会後2週間以内に体調不良となり「新型コロナウイルス感染症」の疑いが生じた、または発症した場合、速やかに長野県スキー連盟まで連絡すること。

6. 新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOA の導入を推奨します。